

## 目次

●英語コミュニケーションⅢ (2Tc)	1
●英語コミュニケーションⅢ (2Ta)	2
●英語コミュニケーションⅢ (2Tb)	3
●英語コミュニケーションⅢ (2M15)	4
●英語コミュニケーションⅢ (2M11)	5
●英語コミュニケーションⅢ (2Ti)	6
●英語コミュニケーションⅢ (2Tj)	7
●英語コミュニケーションⅢ (2D16・17)	8
●英語コミュニケーションⅢ (2La)	9
●英語コミュニケーションⅢ (2Eg)	10
●英語コミュニケーションⅢ (2Eh)	11
●英語コミュニケーションⅢ (2P18)	12
●英語コミュニケーションⅢ (2Lc)	13
●英語コミュニケーションⅢ (2Eb)	14
●英語コミュニケーションⅢ (2Ea)	15
●英語コミュニケーションⅢ (2Ee)	16
●英語コミュニケーションⅢ (2Ec)	17
●英語コミュニケーションⅢ (2Ef)	18
●英語コミュニケーションⅢ (2Le)	19
●英語コミュニケーションⅢ (2Ed)	20
●英語コミュニケーションⅢ (2Tg)	21
●英語コミュニケーションⅢ (2Td)	22
●英語コミュニケーションⅢ (2Th)	23
●英語コミュニケーションⅢ (2Te)	24
●英語コミュニケーションⅢ (2Tf)	25
●英語コミュニケーションⅢ (2Kb)	26
●英語コミュニケーションⅢ (2Ka)	27
●英語コミュニケーションⅢ (2Kd)	28
●英語コミュニケーションⅢ (2Kc)	29
●英語コミュニケーションⅢ (2M13)	30
●英語コミュニケーションⅢ (2M14)	31
●英語コミュニケーションⅢ (2M12)	32
●英語コミュニケーションⅢ (2P19)	33
●英語コミュニケーションⅢ (2Fa)	34
●英語コミュニケーションⅢ (2Lb)	35
●英語コミュニケーションⅢ (2Fc)	36
●英語コミュニケーションⅢ (2Fb)	37
●英語コミュニケーションⅢ (2Ld)	38
●英語コミュニケーションⅢ (2Lf)	39

2010年度 前期	曜日・校時 月1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005002 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Tc) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) 2Tc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 前川 智子 / t-mae@athena.ocn.ne.jp / 非常勤講師室 / / 授業の前後 10 分間			
担当教員	前川 智子		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語を聞く・読む・書く・話すという総合的な英語コミュニケーション力を高め、最終的には人前でスピーチができるようになることがねらいである。  <b>授業方法(学習指導法):</b> 読む前にエッセイを聞いて内容を理解するリスニング演習、冒頭部分のディクテーションを行う。次にそれを読み、内容を深く理解すると共に語彙を増やす。本文の overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得する。毎回グループ内でエッセイの要約を発表したり、他の話題を話す練習を行い、話す力をつける。このような演習を繰り返しながら最終スピーチに備える。  <b>到達目標:</b> 関心のある問題・話題について調べ、更に自分の意見等を英語で書き、それを原稿を見ないで発表できるようになる。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>  第 1 回 4 月 12 日 Orientation 中間テスト・期末テストのテーマについて/ Ch.1(listening) 第 2 回 4 月 19 日 Ch.1: September 11 / Ch.2 (listening) / story-telling について 第 3 回 4 月 26 日 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond “September 11” / Ch.3 (listening) / 要約の書き方 第 4 回 5 月 10 日 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk / Ch.4 (listening) 第 5 回 5 月 17 日 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students’ Power in the Stone Walk / Ch. 6 (listening) 第 6 回 5 月 24 日 Ch.4(story-telling) / Ch. 6: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方 第 7 回 6 月 7 日 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ) / Ch.7 (listening) 第 8 回 6 月 14 日 Ch.6(story-telling) / Ch. 7 : The Japan that I love / Ch.10 (listening) 第 9 回 6 月 21 日 Ch.7(story-telling) / Ch.10:The Art of Memory / Ch.11 (listening) 第 10 回 6 月 28 日 Ch.10(story-telling) / Ch. 1 1 :Statues for Peace / Ch.11(story-telling) 第 11 回 7 月 5 日 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(2) short speech 2: Ch. 6&7 又は 10&11 /英語でのスピーチ講評(グループ) / 最終スピーチテーマについて 第 12 回 7 月 12 日 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech 第 13 回 7 月 26 日 <最終スピーチ原稿提出> Preparation for the final speech 第 14 回 7 月 30 日 一班:スピーチ発表、 二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出) 第 15 回 8 月 2 日 二班:スピーチ発表、 一斑、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出) 第 16 回 8 月 9 日 三班:スピーチ発表、 一斑、二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「Working for Peace is Fun」(Andrea LeBlank, 外著) / 新聞記事、インターネット記事など		
成績評価の方法・基準等	期末テスト:スピーチ(30%) / 中間テスト:ショート・スピーチ2回(20%) / 他人のスピーチ評価レポート(10%) / 課題提出(20%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・story-telling などの授業中の活動(20%)		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回となると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く		
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		

2010年度 前期	曜日・校時 月1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005001 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Ta) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) 2Ta	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤本 ゆかり / / 非常勤講師室 / 095-819-2078 (全学教育事務室) / 月曜日 2時30分より			
担当教員	藤本 ゆかり		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> ダイアログの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアログを容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアログを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピートを行うことで、スキルの定着を図る。 <b>到達目標:</b> 基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。日常会話を通して、ダイアログの背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 生活や文化におけるテーマを中心に、機能別・場面別に分けられた、対話形式の実践的なダイアログについて、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチで進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアログの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。ダイアログの背景について解説する。英会話とコミュニケーションに対する意欲を持てるように指導していく。			
第1回 4/12 導入・授業内容の説明 第2回 4/19 UNIT 1 機能編1 第3回 4/26 UNIT 1 機能編2 第4回 5/10 UNIT 2 場面編1 第5回 5/17 UNIT 2 場面編2 第6回 5/24 UNIT 3 基本的な疑問文のパターン1 第7回 6/7 UNIT 3 基本的な疑問文のパターン2 第8回 6/14 UNIT 4 助動詞1 第9回 6/21 UNIT 4 助動詞2 第10回 6/28 UNIT 5 動詞と準動詞1 第11回 7/5 UNIT 5 動詞と準動詞2 第12回 7/12 UNIT 6 名詞節を用いた表現1 第13回 7/26 UNIT 6 名詞節を用いた表現2 第14回 7/30 UNIT 7 場面応用編1 第15回 8/2 UNIT 7 場面応用編2 第16回 8/9 定期試験			
キーワード	機能別・場面別の英文 / 英文法力の強化 / 対話形式		
教科書・教材・参考書	英語コミュニケーション教本 (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んで下さい。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	有用な日常会話を学び、役立てる。 対話形式で実践的な英語表現を身に着ける。		
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に出席して下さい。予め英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		

2010年度 前期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005004 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Tb) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) 2Tb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー メリッサ マカララド / Melissa Ramos Macalalad/cgsatuito@aqr.bbq.jp / / 095-883-4228 / By appointment			
担当教員	メリッサ マカララド		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese. <b>授業方法(学習指導法):</b> This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting. <b>到達目標:</b> By the end of this course, students would be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations;</li> <li><input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation;</li> <li><input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.</li> </ul>			
<b>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> This course covers the 10 units of the textbook, which will be supplemented by the textbook CD and handouts to be distributed in class. 第1回 4/5 Guidance of course and class requirements; self-introduction; typical question, request and command patterns. 第2回 Sentence patterns for asking questions; giving instructions; making requests, verifications, explanations 第3回 Sentence patterns with subjects We/ You/They 第4回 Interrogatives: functions and situations: Part I 第5回 Interrogatives: functions and situations: Part II 第6回 Interrogatives: functions and situations: Part III 第7回 Sentence patterns with noun clauses: Part I 第8回 Sentence patterns with noun clauses: Part II 第9回 Sentence patterns using auxiliary verbs 第10回 Sentence patterns using the Present Perfect, Progressive and Passive forms of verbs 第11回 Sentence patterns with subject + verb + person + to do 第12回 Sentence patterns with non-finite verbs: Part I 第13回 Sentence patterns with non-finite verbs: Part II 第14回 Sentence patterns using causative and sensory verbs 第15回 Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels 第16回 Final Exam			
キーワード			
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文 600; Handouts to be distributed in class 教科書は第一回目の授業時に教室にて販売します。		
成績評価の方法・基準等	Class participation: 40%      Final Exam: 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005003 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2M15) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) 2M15	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 前川 智子 / t-mae@athena.ocn.ne.jp / 非常勤講師室 / / 授業の前後 10 分間			
担当教員	前川 智子		
<p><b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b></p> <p><b>ねらい:</b>英語を聞く・読む・書く・話すという総合的な英語コミュニケーション力を高め、最終的には人前でスピーチができるようになることがねらいである。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>読む前にエッセイを聞いて内容を理解するリスニング演習、冒頭部分のディクテーションを行う。次にそれを読み、内容を深く理解すると共に語彙を増やす。本文の overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得する。毎回グループ内でエッセイの要約を発表したり、他の話題を話す練習を行い、話す力をつける。このような演習を繰り返しながら最終スピーチに備える。</p> <p><b>到達目標:</b>関心のある問題・話題について調べ、更に自分の意見等を英語で書き、それを原稿を見ないで発表できるようになる。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。</p> <p><b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b></p> <p>第1回 4月12日 Orientation 中間テスト・期末テストのテーマについて/ Ch.1(listening)  第2回 4月19日 Ch.1: September 11 / Ch.2 (listening) / story-telling について  第3回 4月26日 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond “September 11” / Ch.3 (listening) / 要約の書き方  第4回 5月10日 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk / Ch.4 (listening)  第5回 5月17日 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students’ Power in the Stone Walk / Ch. 6 (listening)  第6回 5月24日 Ch.4(story-telling) / Ch. 6: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方  第7回 6月7日 &lt;スピーチ原稿提出&gt; 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&amp;2 又は 3&amp;4 /英語でのスピーチ講評(グループ) / Ch.7 (listening)  第8回 6月14日 Ch.6(story-telling) / Ch. 7 : The Japan that I love / Ch.10 (listening)  第9回 6月21日 Ch.7(story-telling) / Ch.10:The Art of Memory / Ch.11 (listening)  第10回 6月28日 Ch.10(story-telling) / Ch. 11 :Statues for Peace / Ch.11(story-telling)  第11回 7月5日 &lt;スピーチ原稿提出&gt; 中間テスト(2) short speech 2: Ch. 6&amp;7 又は 10&amp;11 /英語でのスピーチ講評(グループ) / 最終スピーチテーマについて  第12回 7月12日 &lt;最終スピーチ・アウトライン提出&gt; Preparation for the final speech  第13回 7月26日 &lt;最終スピーチ原稿提出&gt; Preparation for the final speech  第14回 7月30日 一班:スピーチ発表、 二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)  第15回 8月2日 二班:スピーチ発表、 一斑、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)  第16回目 8月9日 三班:スピーチ発表、 一斑、二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「Working for Peace is Fun」(Andrea LeBlank, 外著) / 新聞記事、インターネット記事など		
成績評価の方法・基準等	期末テスト:スピーチ(30%) / 中間テスト:ショート・スピーチ2回(20%) / 他人のスピーチ評価レポート(10%) / 課題提出(20%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・story-telling などの授業中の活動(20%)		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回となると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く		
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		

2010年度 前期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005007 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2M11) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) 2M11	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー メリッサ マカララド / Melissa Ramos Macalalad/cgsatuito@aqr.bbiq.jp / / 095-883-4228 / By appointment			
担当教員	メリッサ マカララド		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese. <b>授業方法(学習指導法):</b> This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting. <b>到達目標:</b> By the end of this course, students would be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations;</li> <li><input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation;</li> <li><input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.</li> </ul>			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> This course covers the 10 units of the textbook, which will be supplemented by the textbook CD and handouts to be distributed in class. 第1回 4/5 Guidance of course and class requirements; self-introduction; typical question, request and command patterns. 第2回 Sentence patterns for asking questions; giving instructions; making requests, verifications, explanations 第3回 Sentence patterns with subjects We/ You/They 第4回 Interrogatives: functions and situations: Part I 第5回 Interrogatives: functions and situations: Part II 第6回 Interrogatives: functions and situations: Part III 第7回 Sentence patterns with noun clauses: Part I 第8回 Sentence patterns with noun clauses: Part II 第9回 Sentence patterns using auxiliary verbs 第10回 Sentence patterns using the Present Perfect, Progressive and Passive forms of verbs 第11回 Sentence patterns with subject + verb + person + to do 第12回 Sentence patterns with non-finite verbs: Part I 第13回 Sentence patterns with non-finite verbs: Part II 第14回 Sentence patterns using causative and sensory verbs 第15回 Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels 第16回 Final Exam			
キーワード			
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文 600; Handouts to be distributed in class 教科書は第一回目の授業時に教室にて販売します。		
成績評価の方法・基準等	Class participation: 40%      Final Exam: 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



2010年度 前期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005006 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Ti) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) 2Ti	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 前川 智子 / t-mae@athena.ocn.ne.jp / 非常勤講師室 / / 授業の前後 10 分間			
担当教員	前川 智子		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語を聞く・読む・書く・話すという総合的な英語コミュニケーション力を高め、最終的には人前でスピーチができるようになることがねらいである。  <b>授業方法(学習指導法):</b> 読む前にエッセイを聞いて内容を理解するリスニング演習、冒頭部分のディクテーションを行う。次にそれを読み、内容を深く理解すると共に語彙を増やす。本文の overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得する。毎回グループ内でエッセイの要約を発表したり、他の話題を話す練習を行い、話す力をつける。このような演習を繰り返しながら最終スピーチに備える。  <b>到達目標:</b> 関心のある問題・話題について調べ、更に自分の意見等を英語で書き、それを原稿を見ないで発表できるようになる。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
第 1 回 4 月 12 日 Orientation 中間テスト・期末テストのテーマについて / Ch.1(listening) 第 2 回 4 月 19 日 Ch.1: September 11 / Ch.2 (listening) / story-telling について 第 3 回 4 月 26 日 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond “September 11” / Ch.3 (listening) / 要約の書き方 第 4 回 5 月 10 日 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk / Ch.4 (listening) 第 5 回 5 月 17 日 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students’ Power in the Stone Walk / Ch. 6 (listening) 第 6 回 5 月 24 日 Ch.4(story-telling) / Ch. 6: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方 第 7 回 6 月 7 日 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ) / Ch.7 (listening) 第 8 回 6 月 14 日 Ch.6(story-telling) / Ch. 7 : The Japan that I love / Ch.10 (listening) 第 9 回 6 月 21 日 Ch.7(story-telling) / Ch.10:The Art of Memory / Ch.11 (listening) 第 10 回 6 月 28 日 Ch.10(story-telling) / Ch. 11 :Statues for Peace / Ch.11(story-telling) 第 11 回 7 月 5 日 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(2) short speech 2: Ch. 6&7 又は 10&11 /英語でのスピーチ講評(グループ) / 最終スピーチテーマについて 第 12 回 7 月 12 日 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech 第 13 回 7 月 26 日 <最終スピーチ原稿提出> Preparation for the final speech 第 14 回 7 月 30 日 一班:スピーチ発表、二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出) 第 15 回 8 月 2 日 二班:スピーチ発表、一班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出) 第 16 回 8 月 9 日 三班:スピーチ発表、一班、二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「Working for Peace is Fun」(Andrea LeBlank, 外著) / 新聞記事、インターネット記事など		
成績評価の方法・基準等	期末テスト:スピーチ(30%) / 中間テスト:ショート・スピーチ2回(20%) / 他人のスピーチ評価レポート(10%) / 課題提出(20%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・story-telling などの授業中の活動(20%)		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回となると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く		
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		

2010年度 前期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005005 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Tj) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2Tj	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大坪 有実 / r_otsubo@hotmail.co.jp / 非常勤講師控室 / / 火曜日 12:00~12:50 非常勤講師控室			
担当教員	大坪 有実		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法) / 授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> アメリカ人学生と日本人学生の日常生活についての会話から、食習慣、転職、銃の所持、貧困問題など多岐にわたり、ものの見方、考え方に多様性があることを知り、その違いの文化的背景について説明できるようになることを狙いとする。  <b>授業方法(学習指導法):</b> 主として講義によるが、グループ・ワークを一部組み入れる。  <b>到達目標:</b> ・異文化による考え方の違いの例を挙げられる。 ・ものの見方、考え方の違いの根底である文化的背景が説明できる。 ・テキストで取り上げた各テーマに対する自分の意見を述べられる。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業の前半は、既習文法を再確認しながら精読する。 授業の後半は各課で取り上げた異文化による考え方の違いについて、自分の意見を述べてもらう。また、グループによるディスカッションを行う。 第1回 4月12日 テキスト購入 Introduction 第2回 4月19日 Why do Japanese study hardest before, not during, college? 第3回 4月26日 Why does America have "ladies first"? 第4回 5月10日 Why are Japanese obsessed with brand names? 第5回 5月17日 Why are so many Americans overweight? 第6回 5月24日 Why do Japanese do things in groups? 第7回 6月7日 Why are Americans so outspoken? 第8回 6月14日 Why can't more Japanese speak English? 第9回 6月21日 Why are American state capitals often small cities? 第10回 6月28日 Why do Japanese open gifts so slowly? 第11回 7月5日 Why does America go to war with so many countries? 第12回 7月12日 Why does Japan subsidize farmers? 第13回 7月26日 Why do Americans think their way is the only way? 第14回 7月30日 Why does Japan support whaling? 第15回 8月2日 Why do Americans let people own guns? 第16回 8月9日 定期試験			
<b>キーワード</b>			
<b>教科書・教材・参考書</b>	Face to Face To Better Understand Japanese and American Culture 三修社 (¥1,800+税)		
<b>成績評価の方法・基準等</b>	定期試験 60点 授業中の課題に対する積極的な取組状況 10点 小テスト及び出席状況 30点		
<b>受講要件(履修条件)</b>	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。		
<b>本科目の位置づけ / 学習・教育目標</b>			
<b>備考(準備学習等)</b>			



2010年度 前期	曜日・校時 月4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005008 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2D16・17) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) 2D16・17	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 井石 哲也 / iseki@kwassui.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-822-4107(内線 257) / 活水女子大学井石研究室にて要確認			
担当教員	井石 哲也		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
ねらい:英語読解力養成と聞き取り(イギリス英語の会話表現等)、イギリス文化理解			
授業方法(学習指導法):使用テキストの英文(400語前後)を、構文を把握しながら精読し、正確に理解する。またイギリス英語の会話を理解できるように、聞き取りの能力を養成する。			
到達目標:英語読解力の養成とともに、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解することを目標とする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回～第15回は各回のトピックに従って英文の読解演習を行い、第16回目8月9日に定期試験を実施する。			
第1回 4月12日 導入・テキスト Chapter 1: Animals:Fictional and Real			
第2回 4月19日 Chapter 2: Exporting Sport			
第3回 4月26日 Chapter 3: Literature:The Reading Boom			
第4回 5月10日 Chapter 4: Eating Habits:Changing Tastes			
第5回 5月17日 Chapter 5: Art:Attitudes and Anonymity			
第6回 5月24日 Chapter 6: Population: Food for Thought			
第7回 6月7日 Chapter 7: Antiques:Older is Often Better			
第8回 6月14日 Chapter 8: Smoke-free Britain			
第9回 6月21日 Chapter 9: Edinburgh:A City of Festivals			
第10回 6月28日 Chapter 10: Television:Reflecting Our Lives			
第11回 7月5日 Chapter 11: Structures of the Millennium			
第12回 7月12日 Chapter 12: Leisure:Indoor and Outdoor			
第13回 7月26日 Chapter 13: Education in the UK			
第14回 7月30日 Chapter 14: Superstition and Beliefs			
第15回 8月2日 Chapter 15: Pedal Power			
第16回目8月9日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Anthony Allan, Tetsuya & Reiko Iseki, Insight into Britain (Kinseido, 2010)		
成績評価の方法・基準等	定期試験 70点、授業における発表と取り組み 30点の配点とする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005011 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2La) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2La	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 松村 ラッタナー / mratana46@yahoo.com / 非常勤講師室 / 095-882-6656 / By appointment.			
担当教員	松村 ラッタナー		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> This course aims to develop students' communication skills through engaging students to critically think and share their own opinions on key everyday issues. Students will learn to use different communication strategies and the English they know to carry on group discussions. They will learn to give short presentations. <b>授業方法(学習指導法):</b> This is an interactive speaking class. Conversational techniques and language functions are introduced and practiced in pairs and small groups. <b>到達目標:</b> By the end of the course, students would be able to more effectively use basic communication strategies and functional expressions covered in class to express themselves and engage in an opinion sharing conversation. They would be able to give a short presentation.			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> The course content includes basic communication strategies, basic presentation skills, and language functions relating to expressing opinions, agreeing and disagreeing with opinions. Listening and reading are incorporated to stimulate thinking and discussions. Topics of interest will be selected and used to review materials taught.			
第1回 4月 8日 Introduction / Basic communication strategies 第2回 4月15日 Expressing opinions / Agreeing and disagreeing 第3回 4月22日 Why learn English? 第4回 5月 6日 Discussion on the topic 第5回 5月13日 Introduction to presentation / Soliciting details 第6回 5月20日 Generation gaps 第7回 5月27日 Discussion on the topic 第8回 6月 3日 Discussion connectors 第9回 6月10日 Friendship and shoplifting 第10回 6月17日 Discussion on the topic 第11回 6月24日 Marriage and cohabitation 第12回 7月 1日 Discussion on the topic 第13回 7月 8日 Student presentation 第14回 7月15日 Topic 5 and discussion on the topic 第15回 7月22日 Discussion assessment 第16回 8月 5日 定期試験			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	Materials will be distributed in class.		
成績評価の方法・基準等	Participation 10% Self-study practice 20% Student presentation 20% Discussion assessment 30% Final exam 20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005010	●英語コミュニケーションⅢ (2Eg) English Communication III		
授業科目/(英語名)			
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) 2Eg	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤内 則光 / fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤控室 / 095-840-2000 (Ext 335) / 外語大 335 研究室にて随時・要確認			
担当教員	藤内 則光		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b> この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b> CALL 教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。</p> <p><b>到達目標:</b> CNN 放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。</p>			
<p><b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。 授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。 主教材は、主に現代日本の時事に関する NHK BS のニュースを題材にした DVD 教材。第 1 回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属の DVD を見て、事前に予習をすること。 授業の進捗が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVD を見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1 回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。</p> <p>第 1 回 4/15 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認 第 2 回 4/22 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ 第 3 回 5/6 副教材 Unit 3、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 4 回 5/13 副教材 Unit 4、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 5 回 5/20 副教材 Unit 5、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 6 回 5/27 副教材 Unit 6、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 7 回 6/3 副教材 Unit 7、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 8 回 6/10 副教材 Unit 8、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 9 回 6/17 副教材 Unit 9、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 10 回 6/24 副教材 Unit 11、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 11 回 7/1 副教材 Unit 12、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 12 回 7/8 副教材 Unit 13、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 13 回 7/15 副教材 Unit 14、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 14 回 7/22 副教材 Unit 21、主教材 教科書 1 課、新章へ 第 15 回 7/29 副教材 Unit 24、主教材 教科書 1 課 1 6 回目 定期試験 開講時 8 月 5 日</p>			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	主教材：What's on Japan 4(金星堂) 副教材：Campus Listening(成美堂)		
成績評価の方法・基準等	全て主教材より 定期試験 80%(単語理解 8%・聴解 8%、本文内容ディクテーション 20% (部分点なし)、内容理解 24%、課題英作文 10% (部分点あり)、英語による意見論述 10%を含む) 平常点 20%(英作文提出と副教材解答結果提出)		
受講要件(履修条件)	教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005009 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Eh) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等)	英語コミュニケーションⅢ (2Eh)	科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 上村 俊彦 / yandi@sun.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-813-5500 / 長崎県立大学シーボルト校上村研究室 (要事前予約)			
担当教員	上村 俊彦		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
ねらい: CEF(A2-B1)レベルの英語テキストを使い、英文テキストの大意を取りながら読むこと、英語の基本的な構造や出現頻度の高い語彙を用いた英文を聞くこと・話すこと・書くことに習熟する。			
授業方法(学習指導法): 英文テキスト(World English 2)を使用して、英文の大意を取りながら読むこと(Extensive Reading)、英語音読(Shadowing)、基本的な構文や出現頻度の高い語彙を用いた英文作成(Writing)や発話の演習をおこなう。			
到達目標: CEFR (A2-B1)に相当する英語運用能力の養成を目指す。 <a href="http://www.ets.org/Media/Research/pdf/CEF_Mapping_Study_Interim_Report.pdf">http://www.ets.org/Media/Research/pdf/CEF_Mapping_Study_Interim_Report.pdf</a>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
英語の4技能(「読み」、「聞き」、「書き」、「話す」)の向上のための演習をおこなう。テキストの中の英文作成課題については、クラスで演習をおこなうとともに、iPortfolioを用いた課外レポートを課す。 elt.heinle.com/worldenglish (iPortfolio利用予定)			
第1回 オリエンテーション, Extensive Reading とは			
第2回 U. 1 Food from the Earth			
第3回 U. 2 Communication			
第4回 U. 3 Cities			
第5回 U. 4 The Body			
第6回 U. 5 Challenges			
第7回 U. 6 Transitions			
第8回 U.1 - U.6 Summary, Mid-Term Exam			
第9回 U. 7 Luxuries			
第10回 U. 8 Nature			
第11回 U. 9 Life in the Past			
第12回 U. 10 Travel			
第13回 U. 11 Careers			
第14回 U. 12 Celebrations			
第15回 U.7 - U. 12 Summary			
キーワード	Extensive Reading, Four Skills		
教科書・教材・参考書	主教材 Johanssen & Chase (2010) World English 2 Cengage Learning 随時、プリント教材を配布予定。		
成績評価の方法・基準等	2回の試験、提出課題(iPortfolio使用)、出席状況等を総合的に検討して評価する。 (欠席5回以上は失格) Mid-Term Test 40% Final Test 40% Assignment 20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	英文テキストの音声データ、自習課題映像は、付属CD-ROMを利用してください。		

2010年度 前期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005012 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2P18) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) 2P18	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤内 則光 / fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-840-2000 (Ext 335) / 外語大 335 研究室にて 随時・要確認			
担当教員	藤内 則光		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b> この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b> CALL 教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。</p> <p><b>到達目標:</b> CNN 放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。</p>			
<p><b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b></p> <p>教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。</p> <p>授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。</p> <p>主教材は、主に現代日本の時事に関する NHK BS のニュースを題材にした DVD 教材。第 1 回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属の DVD を見て、事前に予習をすること。</p> <p>授業の進捗が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVD を見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1 回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。</p> <p>第 1 回 4/15 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認  第 2 回 4/22 副教材 Lesson 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ  第 3 回 5/6 副教材 Lesson 2、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 4 回 5/13 副教材 Lesson 3、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 5 回 5/20 副教材 Lesson 4、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 6 回 5/27 副教材 Lesson 5、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 7 回 6/3 副教材 Lesson 7、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 8 回 6/10 副教材 Lesson 9、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 9 回 6/17 副教材 Lesson 14、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 10 回 6/24 副教材 Lesson 17、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 11 回 7/1 副教材 Lesson 18、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 12 回 7/8 副教材 Lesson 19、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 13 回 7/15 副教材 Lesson 21、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 14 回 7/22 副教材 Lesson 22、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 15 回 7/29 副教材 Lesson 23、主教材 教科書 1 課  第 16 回 定期試験 開講時 8 月 5 日</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	主教材：What's on Japan 4(金星堂) 副教材：Short Listening for Travel (成美堂)		
成績評価の方法・基準等	<p>全て主教材より</p> <p>定期試験 80%(単語理解 8%・聴解 8%、本文内容ディクテーション 20% (部分点なし)、内容理解 24%、課題英作文 10% (部分点あり)、英語による意見論述 10%を含む)</p> <p>平常点 20%(英作文提出と副教材解答結果提出)</p>		
受講要件(履修条件)	教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005015 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Lc) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) 2Lc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小川 直義 / ogawa@sun.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-813-5156 / 長崎県立大学シーボルト校研究室にて(要予約)			
担当教員	小川 直義		
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>ねらい:CALL 教室において音声テキストを用い、様々な練習を通して、「聞く」、「話す」中心の英語コミュニケーション能力を向上させる。</p> <p>授業方法(学習指導法):テキストに従い、Review、Listening、Conversation、Pairwork、Pairwork B、Language Check、Interaction、Real Stories などの練習をさせながら授業を進める。</p> <p>到達目標:英語を聞いてすぐに理解できる能力を養う。また、言いたいことを自分の言葉で表現できる能力を養う。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>第 1 回 4 月 8 日 オリエンテーション(CALL の使用法、本書の内容説明、授業の進め方)</p> <p>第 2 回 4 月 15 日 Unit 1 How you two met?</p> <p>第 3 回 4 月 22 日 Unit 2 You must be excited.</p> <p>第 4 回 5 月 6 日 Unit 3 Where should I go?</p> <p>第 5 回 5 月 13 日 Unit 4 I love that?</p> <p>第 6 回 5 月 20 日 Unit 5 What' your excuse?</p> <p>第 7 回 5 月 27 日 Unit 6 What's it like there?</p> <p>第 8 回 6 月 3 日 前半の復習</p> <p>第 9 回 6 月 10 日 Unit 7 Do you remember when ...?</p> <p>第 10 回 6 月 17 日 Unit 8 Let's have a party.</p> <p>第 11 回 6 月 24 日 Unit 9 What should I do?</p> <p>第 12 回 7 月 1 日 Unit 10 Tell me a story.</p> <p>第 13 回 7 月 8 日 Unit 11 In my opinion ...</p> <p>第 14 回 7 月 15 日 Unit 12 It's my dream !</p> <p>第 15 回 7 月 22 日 後半の復習</p> <p>第 16 回 8 月 5 日 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	English Firsthand 2 (4th Edition), Longman		
成績評価の方法・基準等	発表 20%、小テスト 20%、期末試験 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



2010年度 前期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005014 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Eb) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2Eb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 勝俣 好充 / / 非常勤講師室 / 095-846-0084 (長崎純心大学) / 4限終了後、教室にて。			
担当教員	勝俣 好充		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 大学において第二言語として英語を学ぶ目的、方法、考え方をあらためて整理・明確化し、これまでの学習の蓄積を俯瞰・統合・活性化することにつとめる。とくにまとまった内容をそなえた情報を聞き取るちからをやしなうことをねらいとする。受講者はそのためのスキルを主体的に再編・確認することがもとめられる。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 音声にかんする基本事項を確認した後、おもにリスニング演習をとおしてその運用能力の定着をはかるといふかたちですすめる。  <b>到達目標:</b> 英語の音声にかんする基本事項を理解し、文字媒体とならんで音声媒体からまとまった内容をそなえた情報を聞き取ることができるようになること。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 最初にあらためて英語を学ぶ目的、方法、考え方を整理・明確化することからはじめ、その後、音声にかんする基本事項を確認し、リスニング演習をとおして、これまでの英語学習の蓄積を統合・活性化していく。授業終了後には、英語習得のスキルとして、みずから編集したレジュメを提出課題とする。そのようにして再確認された英語力によって、期末試験にのぞむことになる。			
第1回 4月15日、英語を学ぶ目的、方法、考え方 第2回 4月22日、音声の基本事項(1)母音と子音、語の強勢 第3回 5月6日、音声の基本事項(2)文の強勢とリズム 第4回 5月13日、音声の基本事項(3)消える音 第5回 5月20日、音声の基本事項(4)つながる音 第6回 5月27日、音声の基本事項(5)変化する音 第7回 6月3日、音声の基本事項(6)数字の聞き取り 第8回 6月10日、音声の基本事項(7)意味単位で聞き取る 第9回 6月17日、音声の基本事項(8)必要な情報のみを聞き取る 第10回 6月24日、音声の基本事項(9)話の要点を理解する 第11回 7月1日、音声の基本事項(10)話の展開を予測する 第12回 7月8日、総合演習(1) 第13回 7月15日、総合演習(2) 第14回 7月22日、総合演習(3) 第15回 7月29日、まとめ 第16回、8月5日、定期試験。			
<b>キーワード</b>			
<b>教科書・教材・参考書</b>	教科書はプリントを使用。参考書は随時紹介する。		
<b>成績評価の方法・基準等</b>	提出課題30%、期末試験70%。		
<b>受講要件(履修条件)</b>			
<b>本科目の位置づけ/学習・教育目標</b>			
<b>備考(準備学習等)</b>			

2010年度 前期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005013 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Ea) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) 2Ea	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大里 泰弘 / ms6osatmy@hotmail.co.jp / 非常勤講師室 / / 授業時に要確認			
担当教員	大里 泰弘		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> ・基礎英語力の確認 ・リスニング導入からの4技能の育成 ・実用的コミュニケーションスキルの育成  <b>授業方法(学習指導法):</b> 英語音声の聞き取り力・表出力増強を目的とした説明・練習をおこないながら、コミュニケーションタスクを導入する  <b>到達目標:</b> 日英語の音声・音韻の違いを理解しながらリスニング力の増強を目指す。同時に、タスクテーマに関連のリーディング練習などを行い基本的な自己表現からテーマに関するディスカッションができるようなコミュニケーション能力の育成を目標とする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> リスニング練習を基盤にしてのコミュニケーション力育成タスク  第1回 4/15 Introduction 第2回 4/22 U1 Work, relax, and play! 第3回 5/6 U2 My schedule for Friday 第4回 5/13 U3 How's the weather there? 第5回 5/20 U4 Looking for an apartment 第6回 5/27 U5 How do I use this camera? 第7回 6/3 Review 1 第8回 6/10 TEST 1 第9回 6/17 U6 A great price, today only! 第10回 6/24 U7 Could you hold the line? 第11回 7/1 U8 We should have a party! 第12回 7/8 U9 Your attention, please! 第13回 7/15 U10 Can you fill out this form? 第14回 7/22 Review 2 第15回 7/29 TEST 2 第16回 8/5 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	REAL WORLD LISTENING CENGAGE Learning		
成績評価の方法・基準等	授業時の QUIZ・課題提出, 定期試験を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005017 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Ee) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) 2Ee	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー メリッサ マカララド / Melissa Ramos Macalalad/cgsatuito@aqr.bbiq.jp / / 095-883-4228 / By appointment			
担当教員	メリッサ マカララド		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese. <b>授業方法(学習指導法):</b> This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting. <b>到達目標:</b> By the end of this course, students would be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations;</li> <li><input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation;</li> <li><input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.</li> </ul>			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> This course covers the 10 units of the textbook, which will be supplemented by the textbook CD and handouts to be distributed in class. 第1回 4/9 Guidance of course and class requirements; self-introduction; typical question, request and command patterns. 第2回 Sentence patterns for asking questions; giving instructions; making requests, verifications, explanations 第3回 Sentence patterns with subjects We/ You/They 第4回 Interrogatives: functions and situations: Part I 第5回 Interrogatives: functions and situations: Part II 第6回 Interrogatives: functions and situations: Part III 第7回 Sentence patterns with noun clauses: Part I 第8回 Sentence patterns with noun clauses: Part II 第9回 Sentence patterns using auxiliary verbs 第10回 Sentence patterns using the Present Perfect, Progressive and Passive forms of verbs 第11回 Sentence patterns with subject + verb + person + to do 第12回 Sentence patterns with non-finite verbs: Part I 第13回 Sentence patterns with non-finite verbs: Part II 第14回 Sentence patterns using causative and sensory verbs 第15回 Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels 第16回 Final Exam			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文 600; Handouts to be distributed in class 教科書は第一回目の授業時に教室にて販売します。		
成績評価の方法・基準等	Class participation: 40%      Final Exam: 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005016 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Ec) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2Ec	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 石川 昭仁 / ishikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師室 / Eメール等で予約してください。			
担当教員	石川 昭仁		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語ニュースを教材として使用し、今世界で話題になっている出来事を理解しながら、シャドーイングや会話の練習に力点を置き、特にリスニングとスピーキングの力を高めます。また、音の連続と脱落などの英語特有の音声変化にも注意を払います。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 英語ニュースを素材に、シャドーイングを通して英語を英語のまま理解し、要点をつかみ、また自分の考えを表現する訓練を行う。 <b>到達目標:</b> 1. 単語の音を聞き分け、文の強勢やリズム/音声変化に習熟する。 2. 英語を聴いて英語のまま理解し、要点をつかむことができる。 3. 単純な話題について比較的ナチュラルな発話で自分の意見を相手に伝えることができる。			
<b>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 4月16日 第1回 インTRODクシヨN: 英語の効果的な学習法とシャドーイングの練習 第2回 4月23日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 1 Many Health Foods Saltier than Big Macs 第3回 4月30日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 2 Baseball Was Invented in England 第4回 5月7日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション月日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 3 Japanese Cars Still More Reliable 第5回 5月14日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 4 New Law to Ban iPods on NY Streets 第6回 5月21日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 5 London Set to Ban Plastic Bags 第7回 5月28日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 6 Study Doubts Aromatherapy's Effects 第8回 6月4日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 7 PC Keyboards Dirtier than Toilet Seats 第9回 6月11日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 8 Children Cost \$50 a Day 第10回 6月18日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 9 Production of Biobuels Set to Rise 第11回 6月25日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 10 Cut-and-Paste Essays a Problem in Schools 第12回 7月2日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 11 The Best Job in the World 第13回 7月9日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 12 Internet Helps Families Stay More in Touch 第14回 7月16日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション CNN ニュースを聞き取る(1) 第15回 7月23日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション CNN ニュースを聞き取る(2) 第16回 8月6日 定期試験			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	Breaking News Listening (Macmillan Language House) 2100円		
成績評価の方法・基準等	期末試験: 70% 小テスト30%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005020 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Ef) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) 2Ef	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー メリッサ マカララド / Melissa Ramos Macalalad/cgsatuito@aqr.bbq.jp / / 095-883-4228 / By appointment			
担当教員	メリッサ マカララド		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese. <b>授業方法(学習指導法):</b> This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting. <b>到達目標:</b> By the end of this course, students would be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations;</li> <li><input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation;</li> <li><input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.</li> </ul>			
<b>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> This course covers the 10 units of the textbook, which will be supplemented by the textbook CD and handouts to be distributed in class.  第1回 4/9 Guidance of course and class requirements; self-introduction; typical question, request and command patterns. 第2回 Sentence patterns for asking questions; giving instructions; making requests, verifications, explanations 第3回 Sentence patterns with subjects We/ You/They 第4回 Interrogatives: functions and situations: Part I 第5回 Interrogatives: functions and situations: Part II 第6回 Interrogatives: functions and situations: Part III 第7回 Sentence patterns with noun clauses: Part I 第8回 Sentence patterns with noun clauses: Part II 第9回 Sentence patterns using auxiliary verbs 第10回 Sentence patterns using the Present Perfect, Progressive and Passive forms of verbs 第11回 Sentence patterns with subject + verb + person + to do 第12回 Sentence patterns with non-finite verbs: Part I 第13回 Sentence patterns with non-finite verbs: Part II 第14回 Sentence patterns using causative and sensory verbs 第15回 Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels 第16回 Final Exam			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文 600; Handouts to be distributed in class 教科書は第一回目の授業時に教室にて販売します。		
成績評価の方法・基準等	Class participation: 40%      Final Exam: 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005019 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Le) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2Le	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 石川 昭仁 / ishikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師室 / / メールで予約 : ishikawa@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp			
担当教員	石川 昭仁		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:英語ニュースを教材として使用し、今世界で話題になっている出来事を理解しながら、シャドーイングや会話の練習に力点を置き、特にリスニングとスピーキングの力を高めます。また、音の連続と脱落などの英語特有の音声変化にも注意を払います。 授業方法(学習指導法):英語ニュースを素材に、シャドーイングを通して英語を英語のまま理解し、要点をつかみ、また自分の考えを表現する訓練を行う。 到達目標: 1. 単語の音を聞き分け、文の強勢やリズム/音声変化に習熟する。 2. 英語を聴いて英語のまま理解し、要点をつかむことができる。 3. 単純な話題について比較的自然な発話で自分の意見を相手に伝えることができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 4月16日 インTRODクシヨN:英語の効果的な学習法とシャドーイングの練習 第2回 4月23日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 1 Many Health Foods Saltier than Big Macs 第3回 4月30日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 2 Baseball Was Invented in England 第4回 5月7日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション月日 シャドーイン グ・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 3 Japanese Cars Still More Reliable 第5回 5月14日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 4 New Law to Ban iPods on NY Streets 第6回 5月21日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 5 London Set to Ban Plastic Bags 第7回 5月28日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 6 Study Doubts Aromatherapy's Effects 第8回 6月4日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 7 PC Keyboards Dirtier than Toilet Seats 第9回 6月11日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 8 Children Cost \$50 a Day 第10回 6月18日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 9 Production of Biobuels Set to Rise 第11回 6月25日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 10 Cut-and-Paste Essays a Problem in Schools 第12回 7月2日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 11 The Best Job in the World 第13回 7月9日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション UNIT 12 Internet Helps Families Stay More in Touch 第14回 7月16日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション CNN ニュースを聞き取る(1) 第15回 7月23日 シャドーイング・語彙・内容把握確認・音声変化の確認・ディスカッション CNN ニュースを聞き取る(2) 第16回 8月6日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Breaking News Listening (Macmillan Language House) 2100円		
成績評価の方法・基準等	期末試験:70% 小テスト30%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



2010年度 前期	曜日・校時 金2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005018 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Ed) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等)	英語コミュニケーションⅢ (2Ed)	科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山崎 祐一 / yamasaki@sun.ac.jp / 非常勤講師室 / /			
担当教員	山崎 祐一		
<p><b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b></p> <p><b>ねらい:</b>異文化理解に関する問題を数多く取り上げ、リスニングとスピーキングを中心とした英語運用能力を強化しつつ、外国語習得に必要な不可欠な目標言語圏の文化的背景を学ぶ。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>英語圏の大都市で日本人が実際に現地の人々と遭遇し、語り合っていくという設定のもとで、ビデオ教材を用いながら英語圏での経験や出来事を英語で聞き、実際に英語で対話練習をする。</p> <p><b>到達目標:</b>コミュニカティブな活動を通して、実用的、且つ斬新な英語表現を習得する。また、英語圏の文化、地理、日常生活について知見を広めていく。英語圏における行動様式を、英語圏に住む人々の意識や価値観に強く訴える性質を有するものとして観察し、その中に見ることができる英語圏と日本における文化や思想の違いについて理解する。また、日本人にとって困難な英語の発音を、日本語との比較を通して解説し、その習得を目指す。</p>			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
<p>第1回 ガイダンスとイントロダクション</p> <p>第2回 英語の音声システム(日本語との比較と発音練習)</p> <p>第3回 場所やその他の情報の入手に関する表現</p> <p>第4回 要望を伝える表現・電話によるコミュニケーション</p> <p>第5回 尋ねる表現・教える表現・初対面の人との接し方</p> <p>第6回 相手に好みを聞く表現・自分の好みを相手に伝える表現</p> <p>第7回 食事中に使う表現</p> <p>第8回 異文化理解・発音・英語表現に関する復習とコミュニカティブ・アクティビティ</p> <p>第9回 店員が使う表現・店で客が使う表現・店員との接し方</p> <p>第10回 丁寧に依頼する表現・許可を求める表現・希望を伝える表現</p> <p>第11回 親しい人への挨拶・様子を尋ねる表現・尋ねられたことに対する応答</p> <p>第12回 異文化理解・発音・英語表現に関する復習とコミュニカティブ・アクティビティ</p> <p>第13回 感謝する表現・別れの挨拶</p> <p>第14回 空港、機内で使われる表現・税関で訪ねられる質問</p> <p>第15回 まとめ</p> <p>第16回 8月6日 定期試験</p>			
キーワード	異文化理解、英語表現、英語発音		
教科書・教材・参考書	Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス)		
成績評価の方法・基準等	期末試験(60%)、クイズ、授業への積極的参加状況(40%)を総合して評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005022 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Tg) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2Tg	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤本 ゆかり / / 非常勤講師室 / 095-819-2078 (全学教育事務室) / 月曜日 12時より			
担当教員	藤本 ゆかり		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に着ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> ダイアログの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアログを容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアログを使用してみる。リスニングの指導を行う。CDを活用し、何度も聴き、リピーティングを行うことで、スキルの定着を図る。 <b>到達目標:</b> 基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に着け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。日常会話を通して、ダイアログの背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 生活や文化におけるテーマを中心に、機能別・場面別に分けられた、対話形式の実践的なダイアログについて、CDを聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチで進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返し行い、定着を図る。さらに、ダイアログの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。ダイアログの背景について解説する。英会話とコミュニケーションに対する意欲を持てるように指導していく。			
第1回 10月4日 授業内容の説明 第2回 10月18日 UNIT 1 機能編1 第3回 10月25日 UNIT 1 機能編2 第4回 11月1日 UNIT 2 場面編1 第5回 11月8日 UNIT 2 場面編2 第6回 11月15日 UNIT 3 基本的な疑問文のパターン1 第7回 11月22日 UNIT 3 基本的な疑問文のパターン2 第8回 11月29日 UNIT 4 助動詞1 第9回 12月6日 UNIT 4 助動詞2 第10回 12月13日 UNIT 5 動詞と準動詞1 第11回 12月20日 UNIT 5 動詞と準動詞2 第12回 1月17日 UNIT 6 名詞節を用いた表現1 第13回 1月24日 UNIT 6 名詞節を用いた表現2 第14回 1月31日 UNIT 7 場面編応用1 第15回 2月7日 UNIT 7 場面編応用2 第16回 2月14日 定期試験			
キーワード	機能別・場面別の英文 / 英文法力の強化 / 対話形式		
教科書・教材・参考書	英語コミュニケーション教本 (小笠原真司 / ウィリアム・コリンズ: 英光社) 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして臨んで下さい。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	有用な日常会話を学び、役立てる。英語のコミュニケーション能力を身に付ける。		
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に出席して下さい。予め英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		

2010年度 後期	曜日・校時 月1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005021 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Td) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) 2Td	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 濱崎 大 / mohican007@hotmail.com / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室在中可			
担当教員	濱崎 大		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語でコミュニケーションを成立させるための様々なスキルを考え、これを実践します。今それぞれが持てる英語力で、最大限のコミュニケーション能力を習得出来るようにします。  <b>授業方法(学習指導法):</b> 理解ある同じ受講生とのコミュニケーションは、プレッシャーを軽減する利点があります。受講生同士、ペアやグループを組み、その落ち着いた状況で教科書の会話例をもとにテーマに沿って会話を発展させていきます。  <b>到達目標:</b> 簡単な日常英会話を躊躇なく運用出来るようにします。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> Text 内の、各 Unit には Topic が設けられて基本的な Conversation が成されています。その Topic と Conversation を基礎に各自、各グループで考えられる Situation を想定して、Conversation を展開して行きます。日本人に独特な、発音を出来るだけ Native に近いものに修正し、これまで学んできた英語を Practical なものになるような授業にいたします。  第 1 回 10月4日 Introduction 第 2 回 10月18日 Unit 1 機能編 第 3 回 10月25日 Unit 2 場面編 第 4 回 11月1日 Unit 3 基本的な疑問文のパターン 第 5 回 11月8日 Unit 3 基本的な疑問文のパターン 第 6 回 11月15日 Unit 4 助動詞 第 7 回 11月22日 Mid-Term Examination Skit Presentation (Group work) 第 8 回 11月29日 Mid-Term Examination Skit Presentation (Group work) 第 9 回 12月6日 Unit 5 動詞と準動詞 第 10 回 12月13日 Unit 5 動詞と準動詞 第 11 回 12月20日 Unit 6 名詞節を用いた表現 第 12 回 1月17日 Unit 6 名詞節を用いた表現 第 13 回 1月24日 Unit 7 ひとくち英会話集 第 14 回 1月31日 Unit 7 ひとくち英会話集 第 15 回 2月7日 Final Examination, Group Presentation 第 16 回 2月7日 Final Examination, Group Presentation			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	英語コミュニケーション教本(英光社) 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Mid-Term Examination: 20% Final Examination: 50%		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。)講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005023 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Th) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) 2Th	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー メリッサ マカララド / Melissa Ramos Macalalad/cgsatuito@aqr.bbq.jp / / 095-883-4228 / By appointment			
担当教員	メリッサ マカララド		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese. <b>授業方法(学習指導法):</b> This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting. <b>到達目標:</b> By the end of this course, students would be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations;</li> <li><input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation;</li> <li><input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.</li> </ul>			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> This course covers the 10 units of the textbook, which will be supplemented by the textbook CD and handouts to be distributed in class. 第1回 Guidance of course and class requirements; self-introduction; typical question, request and command patterns. 第2回 Sentence patterns for asking questions; giving instructions; making requests, verifications, explanations 第3回 Sentence patterns with subjects We/ You/They 第4回 Interrogatives: functions and situations: Part I 第5回 Interrogatives: functions and situations: Part II 第6回 Interrogatives: functions and situations: Part III 第7回 Sentence patterns with noun clauses: Part I 第8回 Sentence patterns with noun clauses: Part II 第9回 Sentence patterns using auxiliary verbs 第10回 Sentence patterns using the Present Perfect, Progressive and Passive forms of verbs 第11回 Sentence patterns with subject + verb + person + to do 第12回 Sentence patterns with non-finite verbs: Part I 第13回 Sentence patterns with non-finite verbs: Part II 第14回 Sentence patterns using causative and sensory verbs 第15回 Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels 第16回 Final Exam			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文 600; Handouts to be distributed in class 教科書は第一回目の授業時に教室にて販売します。		
成績評価の方法・基準等	Class participation: 40%      Final Exam: 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005027 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Te) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) 2Te	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー メリッサ マカララド / Melissa Ramos Macalalad/cgsatuito@aqr.bbiq.jp / / 095-883-4228 / By appointment			
担当教員	メリッサ マカララド		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> This course is designed to improve students' proficiency in listening and speaking English. The textbook of this course was written specifically for Japanese learners of English, and provides a comprehensive list of essential sentence patterns necessary for communicating in common situations, provided with Japanese translations of the sample sentences, words and phrases, as well as, additional explanations written in Japanese. <b>授業方法(学習指導法):</b> This course will focus mainly on listening and oral tasks involving repeating practice of the sample sentences given in the textbook. The students will also practice conversation pieces that use the sentence patterns being taken up, and will be guided in using correct pronunciation, intonation, rhythm and accent. Useful words and phrases will also be introduced on each class meeting. <b>到達目標:</b> By the end of this course, students would be able to: <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> express themselves by using correct and appropriate language functions in different situations;</li> <li><input type="checkbox"/> comprehend what is being asked or expressed in a conversation;</li> <li><input type="checkbox"/> understand the meaning of words and phrases commonly used in typical situations.</li> </ul>			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> This course covers the 10 units of the textbook, which will be supplemented by the textbook CD and handouts to be distributed in class. 第1回 Guidance of course and class requirements; self-introduction; typical question, request and command patterns. 第2回 Sentence patterns for asking questions; giving instructions; making requests, verifications, explanations 第3回 Sentence patterns with subjects We/ You/They 第4回 Interrogatives: functions and situations: Part I 第5回 Interrogatives: functions and situations: Part II 第6回 Interrogatives: functions and situations: Part III 第7回 Sentence patterns with noun clauses: Part I 第8回 Sentence patterns with noun clauses: Part II 第9回 Sentence patterns using auxiliary verbs 第10回 Sentence patterns using the Present Perfect, Progressive and Passive forms of verbs 第11回 Sentence patterns with subject + verb + person + to do 第12回 Sentence patterns with non-finite verbs: Part I 第13回 Sentence patterns with non-finite verbs: Part II 第14回 Sentence patterns using causative and sensory verbs 第15回 Sentence patterns showing comparisons and degrees/levels 第16回 Final Exam			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	コミュニケーションのためのパターン英文 600; Handouts to be distributed in class 教科書は第一回目の授業時に教室にて販売します。		
成績評価の方法・基準等	Class participation: 40%      Final Exam: 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



2010年度 後期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005026 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Tf) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) 2Tf	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 前川 智子 / t-mae@athena.ocn.ne.jp / 非常勤講師室 / / 授業の前後 10 分間			
担当教員	前川 智子		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語を聞く・読む・書く・話すという総合的な英語コミュニケーション力を高め、最終的には人前でスピーチができるようになることがねらいである。  <b>授業方法(学習指導法):</b> 読む前にエッセイを聞いて内容を理解するリスニング演習、冒頭部分のディクテーションを行う。次にそれを読み、内容を深く理解すると共に語彙を増やす。本文の overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得する。毎回グループ内でエッセイの要約を発表したり、他の話題を話す練習を行い、話す力をつける。このような演習を繰り返しながら最終スピーチに備える。  <b>到達目標:</b> 関心のある問題・話題について調べ、更に自分の意見等を英語で書き、それを原稿を見ないで発表できるようになる。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>  第 1 回 Orientation 中間テスト・期末テストのテーマについて / Ch.1(listening) 第 2 回 Ch.1: September 11 / Ch.2 (listening) / story-telling について 第 3 回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond “September 11” / Ch.3 (listening) / 要約の書き方 第 4 回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk / Ch.4 (listening) 第 5 回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students’ Power in the Stone Walk / Ch. 6 (listening) 第 6 回 Ch.4(story-telling) / Ch. 6: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方 第 7 回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ) / Ch.7 (listening) 第 8 回 Ch.6(story-telling) / Ch. 7 : The Japan that I love / Ch.10 (listening) 第 9 回 Ch.7(story-telling) / Ch.10:The Art of Memory / Ch.11 (listening) 第 10 回 Ch.10(story-telling) / Ch. 11 :Statues for Peace / Ch.11(story-telling) 第 11 回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(2) short speech 2: Ch. 6&7 又は 10&11 /英語でのスピーチ講評(グループ) / 最終スピーチテーマについて 第 12 回 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech 第 13 回 <最終スピーチ原稿提出> Preparation for the final speech 第 14 回 14 回目: 一班:スピーチ発表、 二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出) 第 15 回 15 回目: 二班:スピーチ発表、 一斑、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出) 第 16 回目: 三班:スピーチ発表、 一斑、二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「Working for Peace is Fun」(Andrea LeBlank, 外著) / 新聞記事、インターネット記事など		
成績評価の方法・基準等	期末テスト:スピーチ(30%) / 中間テスト:ショート・スピーチ2回(20%) / 他人のスピーチ評価レポート(10%) / 課題提出(20%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・story-telling などの授業中の活動(20%)		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回となると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く		
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		



2010年度 後期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005025 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Kb) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) 2Kb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 濱崎 大 / mohican007@hotmail.com / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室在中可			
担当教員	濱崎 大		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 学期を通して English Presentation を実践します。 これまで学んできた英語を駆使して、4人から6人のグループをつくり、興味のあるトピックを学期末に英語で発表することを最終目標とします。  <b>授業方法(学習指導法):</b> 講義内容は、Presentation の組み立て方、English Presentation に適切な表現や姿勢、英語での情報収集やまとめ方に重点を置きます。 物事を多面的に見解し、ニュートラルな考え方ができるようになります。  <b>到達目標:</b> Presentation を段階的に作成していく中で、作文力、読解力、応用力ができ、発表をすることにより Speaking や対応力、判断力がつきます。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 前半は教科書、プリント等の講義、後半は Group Work とします。 Formal Presentation を学期末試験とします。これまで培ってきた英語力を総集結、そして駆使して、大学生レベルの英語をもってすれば非常に高度な Presentation を英語でも出来ることを証明します。 資料収集にあたり、Reading や Listing、また、発表に従って、Speaking の skill も重要となります。 毎回の講義を有意義に進めていく Self-Control も重要です。  第1回 10月4日 Introduction, Preparation of presentation 第2回 10月18日 Chapter 6 Organizational Aspects, Making groups and discussing topics 第3回 10月25日 Chapter 7 Organizational Aspects, Deadline of deciding a topic, Group work 第4回 11月1日 Chapter 3 Visual Aspects, Correcting information of a topic 第5回 11月8日 Chapter 4 Visual Aspects, Correcting information of a topic 第6回 11月15日 Chapter 9 Integrated Presentation, Group Work 第7回 11月22日 Chapter 10 Integrated Presentation, Group Work 第8回 11月29日 Chapter 1 Physical Aspects 第9回 12月6日 Chapter 2 Oral Aspects 第10回 12月13日 Due Date of Formal Presentation OutlineDue 第11回 12月20日 Preparation 第12回 1月17日 Preparation 第13回 1月24日 Preparation 第14回 1月31日 Final Examination, Group Presentation 第15回 2月7日 Final Examination, Group Presentation 第16回 2月11日 Final Examination, Group Presentation			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	Power Presentation 「英語でプレゼンテーション」 (三修社) 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% 提出物: Formal Presentation Outline: 25% Final Examination: English Presentation: 45%		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005024 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Ka) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) 2Ka	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大坪 有実 / r_otsubo@hotmail.co.jp / 非常勤講師控室 / / 水曜日 12:00~12:50 非常勤講師控室			
担当教員	大坪 有実		
<p><b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b></p> <p><b>ねらい:</b>英語の4技能 読む・書く・聞く・話すのうち、読む・話すことに重点を置き、グループ・ワークを通して、他人の意見を聞き、ものの考え方、見方の多様性を認識するとともに、一つ的话题を多角的に見ることを狙いとする。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。</p> <p><b>到達目標:</b>・各ユニットのテーマについて自分の意見が述べられる。 ・他人の意見を聞くことで、様々な角度からの考察ができる。 ・精読と速読の違いを理解し、これに対応することができる。</p> <p><b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 全体は大きく、前半と後半からなる。 授業の前半は、各ユニットのテーマについて、グループ・ワークを通して意見交換をし、異なる考え方に触れ、多角的な見方を養う。 授業の後半は、既習文法に触れながら、精読をしていく。 精読の力がついたら、速読に切り替えていく。</p> <p>第1回 10月4日 教科書販売 ・ Introduction 第2回 10月18日 The Dreams of Eduardo Ortega 第3回 10月25日 The Wrights Were Right 第4回 11月1日 Orpheus and Eurydice 第5回 11月8日 How Safe is Your Water? 第6回 11月15日 Home Remedies 第7回 11月22日 Caffeine 第8回 11月29日 Going, Going, Going 第9回 12月6日 Hale-Bopp 第10回 12月13日 SETI: Search for Extraterrestrial Intelligence 第11回 12月20日 Old McDonald's 第12回 1月17日 Malls: Public Places or Private Businesses? 第13回 1月24日 Customer Service 第14回 1月31日 Bridges for sale? 第15回 2月7日 Songs of Love on Crete 第16回 2月14日 定期試験</p>			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	TAPESTRY Reading 1 (Beginning) 方略で学ぶアクティブ・リーディング1 松柏社 ￥1,800+税		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60点 授業中の課題に対する積極的な取組状況 10点 小テスト及び出席状況 30点		
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005029 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Kd) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) 2Kd	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 山崎 有介 / pro-1223@ngs2.cncm.ne.jp / 非常勤講師室 / / 授業終了時			
担当教員	山崎 有介		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 異文化圏の言語としての英語をイラストを交えながら、その表現方法学び取り、文法的な力を養成することを目的とする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 毎回テキストにあるイラストと日常英会話の表現を学習し、英語独特な表現をスピーキングを試してみたり、ライティングを試してみたりしながら、異文化でありながら、その慣用性に親しめるように指導する。 <b>到達目標:</b> 無理なく通常の英文が読め、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 毎回テキストは一課ずつ進むものとする。各課の表現学習をさらに基本表現と発展表現に分け、Exercisesを行うものとする。 第1回 オリエンテーション：授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ 第2回 一語一句文：基本表現&発展表現 第3回 語尾-er の表現：基本表現&発展表現 第4回 語尾-ing の表現：基本表現&発展表現 第5回 語尾-ed の表現：基本表現&発展表現 第6回 be+形容詞の表現：基本表現&発展表現 第7回 in, out を用いた表現：基本表現&発展表現 第8回 中間としてのまとめ(テストを含む) 第9回 on と off と at を用いた表現：基本表現&発展表現 第10回 have を用いた表現：基本表現&発展表現 第11回 come を用いた表現：基本表現&発展表現 第12回 go を用いた表現：基本表現&発展表現 第13回 take を用いた表現：基本表現&発展表現 第14回 put を用いた表現：基本表現&発展表現(予備：give, get, make) 第15回 全体のまとめ 16回目 2月8日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Putting Common Verbs to Work for You (Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等	○定期試験 50%、中間試験 30%、小試験 10%、授業への姿勢(予習・発言・質問)10%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005028 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Kc) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2Kc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 松田 雅子 / mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 4F / 095-819-2740 / 月曜日 16:00-17:00			
担当教員	松田 雅子		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 基本的な英語を話す力を伸ばす、コミュニケーションの能力をつける  <b>授業方法(学習指導法):</b> ビデオ視聴、リスニング、リピーティング、シャドウイング、ペアで会話練習、ロールプレイ、リーディング  <b>到達目標:</b> 簡単な会話の文型を覚えて、自分について、身近なことがいえるようになる。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 1) 基本的な英語の文型を吹き込んだ CD を聞き、声に出して繰り返す。録音し、学習の記録をとる。 2) 英語の文章を早く読む練習をし、流暢に話せるよう訓練する。 3) イギリスのドラマを視聴し、ロールプレイをする。 4) 自分のこと、身近なことについて、英語で話せるように練習する。 5) 簡単な英語の文章を読んで、英語で内容をまとめ、意見を発表する。 第 1 回 1-4 課、ペアワーク、ビデオ視聴 第 2 回 復習テスト、5-8 課、ペアワーク、ビデオ視聴 第 3 回 復習テスト、9-12 課、ペアワーク、ビデオ視聴、ロールプレイ 第 4 回 復習テスト、13-16 課、ペアワーク、ビデオ視聴 第 5 回 復習テスト、17-20 課、ペアワーク、ビデオ視聴 第 6 回 復習テスト、21-24 課、ペアワーク、ビデオ視聴、ロールプレイ 第 7 回 復習テスト、25-28 課、ペアワーク、英語教材を読む 第 8 回 復習テスト、29-32 課、ペアワーク、英語教材を読む 第 9 回 復習テスト、33-36 課、ペアワーク、英語教材を読む 第 10 回 復習テスト、37-40 課、ペアワーク、英語教材を読む 第 11 回 復習テスト、41-44 課、ペアワーク、英語教材を読む 第 12 回 復習テスト、45-48 課、ペアワーク、ビデオ視聴、 第 13 回 復習テスト、49-50 課、ペアワーク、ビデオ視聴 第 14 回 復習テスト、review、ペアワーク、ビデオ視聴 第 15 回 会話試験 第 16 回 8月3日 定期試験			
キーワード	speaking, repeating, recording, pair work		
教科書・教材・参考書	1) 英会話ペラペラ練習帳(アルク、2001) (テキストは最初の時間に販売してもらう) 2) プリント教材		
成績評価の方法・基準等	○定期試験 50%、口頭試験 30%、課題 20%		
受講要件(履修条件)	毎回授業に必ず出席すること、毎日英語を音読すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	積極的に話し聞く態度が身につく、コミュニケーションの力がつく 積極的にコミュニケーションを取ろうとする態度を養う。スピーキング力をつける。		
備考(準備学習等)	毎日必ず音読し、録音する。		

2010年度 後期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005031 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2M13) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2M13	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 俊明 / t-nishi@nagasaki-u.ac.jp / / 095-819-2095 / 火曜日 12:50~13:30 他は、only by appointment			
担当教員	西原 俊明		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。 <b>到達目標:</b> 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>  英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。 第1回 10月5日 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明 第2回 10月12日 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1) 第3回 10月19日 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2) 第4回 10月26日 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3) 第5回 11月2日 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4) 第6回 11月9日 弱く発音される音、医者と患者の会話(5) 第7回 11月16日 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、 第8回 11月30日 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5)、速読(2) 第9回 12月7日 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、医者と患者の会話(6) 第10回 12月14日 グループによるディスカッション(1)、速読(3) 第11回 12月21日 なくなる音、医者と患者の会話(7)、速読(4) 第12回 1月11日 ひとつになる音、インフォメーションギャップによるペアワーク(3) 第13回 1月18日 つながる音、医者と患者の会話(8)、速読(5) 第14回 1月25日 医者と患者の会話(9)、速読(6) 第15回 2月1日 Review			
キーワード	医学英語、音変化、速読		
教科書・教材・参考書	Medical English Clinic、及びプリント教材。		
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。また、まとめテストは、2回実施する。		
受講要件(履修条件)	毎回、復習を行うこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。基礎的な医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。		
備考(準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を必ず復習すること。		



2010年度 後期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005030 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2M14) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) 2M14	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 小笠原 真司 / ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 1階 / 095-819-2094 / 木3 金3 金5			
担当教員	小笠原 真司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b>英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、リスニングの力をつけるとともに、リピーティングを用いた構文練習を行い、自信を持って英語を発信できるようにします。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、十分練習していただくことを要求します。また、2回程度、プレゼンテーション用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。</p> <p><b>到達目標:</b>テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースや映画なら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンテーションを、自信をもって英語でスピーチできるようにします。</p>			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
<p>毎回、授業の最初には、テキストを用いて、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを聞いて用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、リスニングストラテジーに基づき、リスニング用のプリント教材や英語の歌を用いて、リスニングのトレーニングを行います。さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。</p> <p>この授業に関しては、決して受身的な態度で授業に参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>第1回 オリエンテーション リピーティング練習の体験 リスニングテスト 映画教材1  第2回 テキスト 機能編:質問する、依頼する、確認する等 基礎リスニングトレーニング1 映画教材2  第3回 テキスト 機能編:あやまる、感謝を表す、賛成する等 基礎リスニングトレーニング2 映画教材3  第4回 テキスト 場面編:基本情報を語る 基礎リスニングトレーニング3 映画教材4  第5回 テキスト 場面編:趣味・クラブ・バイトを語る 映画教材5  第6回 テキスト 場面編:勉強・夢を語る スピーチ練習課題A 映画教材6  第7回 テキスト 場面編:勉強・夢を語る スピーチ練習課題A 映画教材7  第8回 テキスト 場面編:友人のことを聞く スピーチ練習課題A 映画教材8  第9回 テキスト 場面編:授業情報を聞く 映画教材9  第10回 テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 映画教材10  第11回 テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 映画教材11  第12回 テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材12  第13回 テキスト 構文編:助動詞を用いた表現練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材13  第14回 テキスト 構文編:助動詞を用いた表現練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材14  第15回 ESP関係の語彙修得練習 リスニング(ポストテスト)  16回 定期試験(2011年2月8日)</p>			
キーワード	Repeating, Pair Work, Listening Strategies		
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト):英語リスニングテスト(JACET 中級) 1,000円(第1回目の授業時に徴収します) English Communication for Self-Expression -Life,Culture and Medicine-(EIKO-SHA) (CD付) 1,800円(第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材 :プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等	成績評価は、○定期試験50%、毎回の小テスト10%、授業中の発表10%、プレゼンペーパー10%リスニングテスト(ポストテスト)20%で行います。		
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



2010年度 後期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005032 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2M12) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2M12	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 前川 智子 / t-mae@athena.ocn.ne.jp / 非常勤講師室 / / 授業の前後 10 分間			
担当教員	前川 智子		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語を聞く・読む・書く・話すという総合的な英語コミュニケーション力を高め、最終的には人前でスピーチができるようになることがねらいである。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 読む前にエッセイを聞いて内容を理解するリスニング演習、冒頭部分のディクテーションを行う。次にそれを読み、内容を深く理解すると共に語彙を増やす。本文の overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得する。毎回グループ内でエッセイの要約を発表したり、他の話題を話す練習を行い、話す力をつける。このような演習を繰り返しながら最終スピーチに備える。 <b>到達目標:</b> 関心のある問題・話題について調べ、更に自分の意見等を英語で書き、それを原稿を見ないで発表できるようになる。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>  第 1 回 Orientation 中間テスト・期末テストのテーマについて / Ch.1(listening) 第 2 回 Ch.1: September 11 / Ch.2 (listening) / story-telling について 第 3 回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond “September 11” / Ch.3 (listening) / 要約の書き方 第 4 回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk / Ch.4 (listening) 第 5 回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students’ Power in the Stone Walk / Ch. 6 (listening) 第 6 回 Ch.4(story-telling) / Ch. 6: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方 第 7 回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ) / Ch.7 (listening) 第 8 回 Ch.6(story-telling) / Ch. 7 : The Japan that I love / Ch.10 (listening) 第 9 回 Ch.7(story-telling) / Ch.10:The Art of Memory / Ch.11 (listening) 第 10 回 Ch.10(story-telling) / Ch. 1 1 :Statues for Peace / Ch.11(story-telling) 第 11 回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(2) short speech 2: Ch. 6&7 又は 10&11 /英語でのスピーチ講評(グループ) / 最終スピーチテーマについて 第 12 回 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech 第 13 回 <最終スピーチ原稿提出> Preparation for the final speech 第 14 回 一班:スピーチ発表、二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出) 第 15 回 二班:スピーチ発表、一班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出) 第 16 回 三班:スピーチ発表、一班、二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「Working for Peace is Fun」(Andrea LeBlank, 外著) / 新聞記事、インターネット記事など		
成績評価の方法・基準等	期末テスト:スピーチ(30%) / 中間テスト:ショート・スピーチ2回(20%) / 他人のスピーチ評価レポート(10%) / 課題提出(20%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・story-telling などの授業中の活動(20%)		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回になると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く		
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		

2010年度 後期	曜日・校時 木1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005033 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2P19) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) 2P19	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー ローン マリー / lawnmj@hotmail.com / 非常勤講師控室/長崎純心大学 C221 / (長崎純心大学) 095-846-0084 /			
担当教員	ローン マリー		
<b>授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> The ability to communicate in English in an increasingly international community is essential. Given that the key to developing most skills is the careful balance between “study” and “practice,” based on the course text and text CD students will be given the opportunity to further develop their communication skills (reading, writing, listening and speaking) by both studying and using authentic English. <b>授業方法(学習指導法):</b> The course will be based around the text (and text CD), plus some additional materials, this includes reading, writing and listening assignments, pair and group work/ discussion. <b>到達目標:</b> After completing this course students should be more confident in speaking and understanding authentic English.			
<b>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>  第 1 回 10月7日 Introduction - Student self introductions 第 2 回 10月14日 Communication - Parents and children, Between friends 第 3 回 10月21日 Work and Money - Working to live or living to work, Entrepreneurs 第 4 回 10月28日 Technology ' Communications systems, Using technology 第 5 回 11月4日 House and home - Home away from home, Lifestyles 第 6 回 11月17日 Crime and law - Famous crimes, Crime and punishment 第 7 回 11月18日 Review 第 8 回 11月25日 Mass media - Do the right thing, Investigative journalism 第 9 回 12月2日 Trends - My generation, looking good 第 10 回 12月9日 Big moments - Personal firsts, Your first date 第 11 回 12月16日 Men and women - Changing times, Coincidence or destiny? 第 12 回 1月6日 Stages of life - Learning to be human 第 13 回 1月13日 Stages of life - Goals in life 第 14 回 1月20日 Review 第 15 回 1月27日 Summary: Exam preparation 第 16 回 2月10日 Paper exam and interview exam *1			
キーワード	Reading, writing, listening, speaking		
教科書・教材・参考書	Synergy 4 著 Adrian Tennant, Clyde Fowle, Simon Brewster, Paul Davies, Mickey Rogers (Macmillan LanguageHouse, 2006) 第一回目の授業までに、生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等	Regular assignments (incl. reading/ writing/ speaking & listening) 40%, End of term paper exam 20%, End of term interview exam 20%, Attitude (incl. punctuality) 20%		
受講要件(履修条件)	Students are expected to come to class on time with the textbook, a notebook and dictionary		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	*1 Content will be optimized to student's interests and pace. <a href="http://murraylawn.org/narnia.pdf">http://murraylawn.org/narnia.pdf</a>		

2010年度 後期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005037 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Fa) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) 2Fa	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山口 敦子 / / 非常勤講師控室 / 095-846-0084 / 授業終了時			
担当教員	山口 敦子		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法) / 授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 世界情勢や文化、身近な問題まで幅広い内容を伝える海外のニュース番組を DVD で視聴しながら、リスニング力を強化する。またニュース英語に良く使われる構文や表現を学ぶことで、内容をすばやく把握する力を身につけ、国際的な視野の拡大に繋げたい。 <b>授業方法(学習指導法):</b> イギリスの代表的なニュース番組である BBC ニュースのビデオ教材を視聴しながらリスニング練習とおおまかな内容把握を行い、ニュースの要旨を作成する。付属の DVD での予習を前提とする。 <b>到達目標:</b> ニュース英語のリズムや速度に慣れ、リスニング力を向上させる。現代の様々な社会問題に関するキーワードを習得しながら、ニュースの内容を大まかに把握することができるようにする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> テキストの各ユニットの中から学生にとって興味深い内容を持つニュースを扱う。毎回テキスト付属の DVD でニュースクリップを視聴し、リスニング問題の予習をしておく。授業でニュースクリップを視聴しながらリスニング問題の解答を確認する。ニュースの本文を完成させ、おおまかな内容把握を行う。次にニュースに使われた重要な単語と 5 W 1 H に関する問題演習を行うことで細部の理解を目指す。最後はニュースの要約文を完成させ、内容理解と新しい表現の確認をする。			
第 1 回 インTRODakション 第 2 回 Edinburgh's World Heritage Status リスニング演習と内容把握 第 3 回 Edinburgh's World Heritage Status 総合問題演習と要約文の完成 第 4 回 Animal research vs. Rights リスニング演習と内容把握 第 5 回 Animal research vs. Rights 総合問題演習と要約文の完成 第 6 回 Afghanistan and Thailand リスニング演習と内容把握 第 7 回 Afghanistan and Thailand 総合問題演習と要約文の完成 第 8 回 Tales from the Credit Crunch リスニング演習と内容把握 第 9 回 Tales from the Credit Crunch 総合問題演習と要約文の完成 第 10 回 Texting and Driving リスニング演習と内容把握 第 11 回 Texting and Driving 総合問題演習と要約文の完成 第 12 回 Cookery for 11-year-olds リスニング演習と内容把握 第 13 回 Cookery for 11-year-olds 総合問題演習と要約文の完成 第 14 回 Understanding the Big Bang リスニング演習と内容把握 第 15 回 Understanding the Big Bang 総合問題演習と内容把握 第 16 回 2月10日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Understanding the News in English 7 (『DVD で BBC ニュースを見て、聞いて、考える』 金星堂)		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況 20% 期末試験 80%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005036 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Lb) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL 2	
対象学生(クラス等) 2Lb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー ローン マリー / lawnmj@hotmail.com / 非常勤講師控室/長崎純心大学 C221 / (長崎純心大学) 095-846-0084 /			
担当教員	ローン マリー		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> The ability to communicate in English in an increasingly international community is essential. Given that the key to developing most skills is the careful balance between “study” and “practice,” based on the course text and text CD students will be given the opportunity to further develop their communication skills (reading, writing, listening and speaking) by both studying and using authentic English. <b>授業方法(学習指導法):</b> The course will be based around the text (and text CD), plus some additional materials, this includes reading, writing and listening assignments, pair and group work/ discussion. <b>到達目標:</b> After completing this course students should be more confident in speaking and understanding authentic English.			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>  第 1 回 10月7日 Introduction - Student self introductions 第 2 回 10月14日 Communication - Parents and children, Between friends 第 3 回 10月21日 Work and Money - Working to live or living to work, Entrepreneurs 第 4 回 10月28日 Technology ' Communications systems, Using technology 第 5 回 11月4日 House and home - Home away from home, Lifestyles 第 6 回 11月17日 Crime and law - Famous crimes, Crime and punishment 第 7 回 11月18日 Review 第 8 回 11月25日 Mass media - Do the right thing, Investigative journalism 第 9 回 12月2日 Trends - My generation, looking good 第 10 回 12月9日 Big moments - Personal firsts, Your first date 第 11 回 12月16日 Men and women - Changing times, Coincidence or destiny? 第 12 回 1月6日 Stages of life - Learning to be human 第 13 回 1月13日 Stages of life - Goals in life 第 14 回 1月20日 Review 第 15 回 1月27日 Summary: Exam preparation 第 16 回 2月10日 Paper exam and interview exam *1			
キーワード	Reading, writing, listening, speaking		
教科書・教材・参考書	Synergy 4 著 Adrian Tennant, Clyde Fowle, Simon Brewster, Paul Davies, Mickey Rogers (Macmillan LanguageHouse, 2006) 第一回目の授業までに、生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等	Regular assignments (incl. reading/ writing/ speaking & listening) 40%, End of term paper exam 20%, End of term interview exam 20%, Attitude (incl. punctuality) 20%		
受講要件(履修条件)	Students are expected to come to class on time with the textbook, a notebook and dictionary		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	*1 Content will be optimized to student's interests and pace. <a href="http://murraylawn.org/narnia.pdf">http://murraylawn.org/narnia.pdf</a>		

2010年度 後期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005035 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Fc) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 1 2 5	
対象学生(クラス等) 2Fc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤内 則光 / fujiuchi@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤控室 / 095-840-2000 (Ext 335) / 外語大 335 研究室にて随時・要確認			
担当教員	藤内 則光		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b> この授業では、伝達手段としての英語の基本的な技能と、特に読解能力と聴取能力の相関関係を解説した後、読解と聴解の能力を総合的に向上させる訓練を行う。最終的には、「読んで分かる英語」から「聞いて分かる英語」へと、受講生の英語力を向上させる。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b> LL 教室の機材を適宜活用し、与えられた英語のテキストの聴解に音読を加えた訓練方式。</p> <p><b>到達目標:</b> CNN 放送を聞いて内容を説明できる程度の英語運用能力の獲得を目的とする。</p>			
<p><b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b></p> <p>教科書は主教材と副教材の二種類を使用する。</p> <p>授業開始当初は副教材を用い、基本的な英語の聴解とディクテーション、適宜発音指導を行い、採点結果を出席した証拠として回収するとともに、提出物として平常点に加算する。</p> <p>主教材は、主に現代日本の時事に関する NHK BS のニュースを題材にした DVD 教材。第 1 回目のオリエンテーションにて受講生のリクエストを募り、以降、そのリクエストどおりに授業を進行させる。教科書にある英作文を課題として課し、提出させる。受講生は主教材付属の DVD を見て、事前に予習をすること。</p> <p>授業の進捗が明確に分かっているので、欠席者は次の授業の準備をすること。DVD を見る装置が自宅にない場合でも、図書館を利用するなどの方策を自分で考えること。教科書は設問に解答するだけでなく、本文の音読を予習や復習に取り入れること。1 回視聴して内容を理解出来る程度の復習を前提にします。授業も最終試験も難しいので、常に復習を怠らないように。</p> <p>第 1 回 10/7 オリエンテーション、座席決定、教科書販売、期末試験の仕様発表、講義の心得確認  第 2 回 10/14 副教材 Unit 1、主教材 教科書 Unit 1、新章へ  第 3 回 10/21 副教材 Unit 3、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 4 回 10/28 副教材 Unit 4、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 5 回 11/4 副教材 Unit 5、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 6 回 11/11 副教材 Unit 6、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 7 回 11/18 副教材 Unit 7、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 8 回 11/25 副教材 Unit 8、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 9 回 12/2 副教材 Unit 9、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 10 回 12/9 副教材 Unit 11、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 11 回 12/16 副教材 Unit 12、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 12 回 1/6 副教材 Unit 13、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 13 回 1/13 副教材 Unit 14、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 14 回 1/20 副教材 Unit 21、主教材 教科書 1 課、新章へ  第 15 回 1/27 副教材 Unit 24、主教材 教科書 1 課  第 16 回目 2月10日 定期試験 開講時</p>			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	主教材：What's on Japan 4(金星堂) 副教材：Campus Listening(成美堂)		
成績評価の方法・基準等	<p>全て主教材より</p> <p>定期試験 80%(単語理解 8%・聴解 8%、本文内容ディクテーション 20% (部分点なし)、内容理解 24%、課題英作文 10% (部分点あり)、英語による意見論述 10%を含む)</p> <p>平常点 20%(英作文提出と副教材解答結果提出)</p>		
受講要件(履修条件)	教科書を購入し、英和辞典を必ず携行して授業に臨むこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



2010年度 後期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005034 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Fb) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等)	英語コミュニケーションⅢ (2Fb)	科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 上村 俊彦 / yandi@sun.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-813-5500 / 長崎県立大学シーボルト校上村研究室 (要事前予約)			
担当教員	上村 俊彦		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:英語の4技能(「読み」、「聞き」、「書き」、「話す」)の向上のための演習をおこなう。  授業方法(学習指導法):英文テキスト(Smart Choice 3)と音声CDを使用して、英文の大意を取りながら読むこと(Extensive Reading)や英語音読(Shadowing)の演習をおこなう。また、基本的な構文や出現頻度の高い語彙を用いた英文作成(Writing)や発話の演習をおこなう。  到達目標:中学・高校で学習した英語の基本的な構文やコミュニケーション必須語彙に習熟し、英語の発信技能の向上を目指す。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 毎時間、前週学習内容に関する小テスト(リスニング)をおこなう。テキストの中の英文作成課題については、クラスで演習をおこなうとともに、iPortfolioを用いた課外レポートを課す。  第1回 オリエンテーション, iPortfolioについて, Extensive Reading とは 第2回 1. I've been hanging out 第3回 2. Do you know who he is? 第4回 3. It was painted by da Vinci. 第5回 Review Units 1-3, Mid-Term Test 第6回 4. Who's your best friend? 第7回 5. Gotta have it! 第8回 6. She'd never been there. 第9回 Review Units 4-6, 7. Time for a makeover! 第10回 8. My life would be great! 第11回 9. What would you have done? 第12回 Review Units 7-9, 10. Anything's possible 第13回 11. What would have happened? 第14回 12. He said he was a movie star! 第15回 Review Units 10-12, Summary			
キーワード	Extensive Reading, Four Skills		
教科書・教材・参考書	Wilson (2007) Smart Choice 3 Oxford: OUP		
成績評価の方法・基準等	2回の試験, 提出課題(iPortfolio使用), 出席状況等を総合的に検討して評価する。(欠席5回以上は失格) Mid-Term Test 40% Final Test 40% Assignment 20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	英文テキストの音声データは、付属CD-ROMを利用してください。 <a href="http://www.oup.com/elt/global/products/smartchoice/smartchoice3/">http://www.oup.com/elt/global/products/smartchoice/smartchoice3/</a>		



2010年度 後期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005038 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅢ (2Ld) English Communication III		
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) 2Ld	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 畠山 均 / hatakeyama@n-junshin.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-846-0084 / 木曜日の授業の前後、非常勤講師室にて			
担当教員	畠山 均		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> Voice of America を素材として作成された教材を使い、主として listening、speaking、reading、の能力の向上を目的とする。特に音読の練習を重視し、英文を自然に読める能力を身に付ける。  <b>授業方法(学習指導法):</b> 小テスト、テキストに従い listening、reading、音読(発音、イントネーション、リズム能力) 向上のために演習。  <b>到達目標:</b> まとまった内容の英文を自然な英語の発音でスムーズに読め、かつ暗唱できる。まとまった内容の英文を細部までしっかりと内容を理解できるように聞き取りれる。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> テキストにしたがって英語での演習を行う。毎回、小テストまたは音読テストを行う。  必ず予習をしてくる事。  第1回 10月7日 Orientation 授業の目的、概要、成績評価の基準などの説明 第2回 10月14日 Unit 1 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第3回 10月21日 Unit 2 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第4回 10月28日 Unit 3 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第5回 11月4日 Unit 4 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第6回 11月11日 Unit 5 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第7回 11月18日 Unit 6 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第8回 11月25日 Unit 7 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第9回 12月2日 Unit 8 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第10回 12月9日 Unit 9 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第11回 12月16日 Unit 10 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第12回 1月6日 Unit 11 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第13回 1月13日 Unit 12 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第14回 1月20日 Unit 13 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習 第15回 1月27日 暗唱テスト 第16回 2月3日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	安波誠祐・Kathleen Brown (2006) The Global Topics of Health and Environment from VOA 健康と環境：身近なトピックから国際問題まで。松柏社。		
成績評価の方法・基準等	毎時間実施の小テスト— 40% 暗唱テスト ————— 20% 期末試験————— 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590005039	●英語コミュニケーションⅢ (2Lf) English Communication III		
授業科目/(英語名)			
対象年次 2年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) 2Lf	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ローン 悦子 / etsukolawn@hotmail.com / 非常勤講師控室 / / 授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。			
担当教員	ローン 悦子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
ねらい:本授業では、実用的な英会話の表現を習得します。特にリスニングとスピーキングに力を入れながら基礎的な英語運用能力の向上を目指します。			
授業方法(学習指導法):テキストに沿って演習形式で行います。ペアーワークやグループワークを多く取り入れ、補助教材も使いながら授業を進める予定です。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。			
到達目標:授業を通して、英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。英語話者と話す機会がある場合に、状況に合った丁寧、あるいはカジュアルな表現を使い分け、躊躇することなく会話できるようになることを目指します。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
テキストは全12課から成っていますが、進度は詰め込み式にならないように、授業の進み具合で調節しながら進めて行きます。テキストの内容は、比較的に学生生活に密着したテーマを中心とした親しみやすいものですので、受講生には回答の機会をできる限り多く設け、ペアーワークやグループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の重要な構文は、自然に口からついて出てくる程度にするために、付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい(特にスピーキングとリスニング力アップのため、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい)。DVDの視聴、プリントの補助教材も適宜使用していただきます。			
第1回 10月1日 オリエンテーション Introduction			
第2回 10月8日 Getting to know each other			
第3回 10月15日 Talking about Pastime			
第4回 10月22日 Review			
第5回 10月29日 Invitation and Appointment			
第6回 11月5日 Making Small Talk			
第7回 11月12日 Review			
第8回 11月26日 Group work for the presentation			
第9回 12月3日 Group work for the presentation			
第10回 12月10日 Intensions			
第11回 12月17日 Presentation			
第12回 12月24日 Review			
第13回 1月7日 Permission and Suggestion			
第14回 1月21日 Comparative Cultures			
第15回 1月28日 Review			
第16回 2月4日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書として Tadashi Shinozawa Gregory A. King 著 『New Activator』 金星堂 を使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等	期末試験(40%)、小テスト、課題、プレゼンテーション(50%)、積極的な授業への参加(10%)を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	各自テキスト付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。		